

2026年度 事業戦略説明会

富士電機株式会社

2026年5月27日

01	富士電機の提供価値	P. 3
02	事業構造の変化	P. 4
03	成長戦略	P. 5
	・ 顧客価値創出	
	・ 総合力	
	・ 成長領域ローリング	
04	株主還元	P.10

エネルギー・環境技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献する

現行領域

つくる

エネルギーの脱炭素化



地熱発電



太陽光発電



風力発電

はこぶ・ためる

エネルギーの安定供給



受変電設備



パワーコンディショナ無停電電源装置



つかう

省エネ・自動化・電化



インバータ



モビリティ機器



パワー半導体



自動販売機

つなぐ

DXによるエネルギー需給の効率化・最適化



エネルギー需給調整ソリューション

項目	数値	単位
CO ₂ 排出係数	0.8	kg-CO ₂ /kWh
CO ₂ 削減率	4.0	%
CO ₂ 削減量	80.0	kg-CO ₂ /kWh
CO ₂ 削減率	1.5	%
CO ₂ 削減量	30.0	kg-CO ₂ /kWh
CO ₂ 削減率	0.40	%
CO ₂ 削減量	8.0	kg-CO ₂ /kWh

カーボンフットプリント 対応ソリューション

成長領域

GX

エネルギー
(蓄電池システム)

モビリティ
(船舶・港湾・車載)

3世代SiC
8世代IGBT

DX

スマートファクトリー
自販機/店舗DX

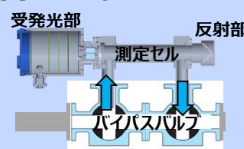
新領域

燃料転換

- ・水素 水素製造装置用電源
- ・アンモニア ガス分析計・漏洩センサ



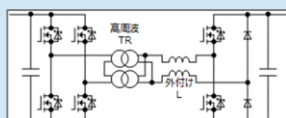
水素製造装置用電源



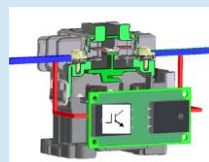
NH₃残留検知センサ

直流配電

- ・DC/DC変換器
- ・半導体遮断器



DC/DC変換器



半導体遮断器

電化シフト

- ・廃熱回収ヒートポンプ
- ・エジェクタ冷却機



エジェクタ冷却機

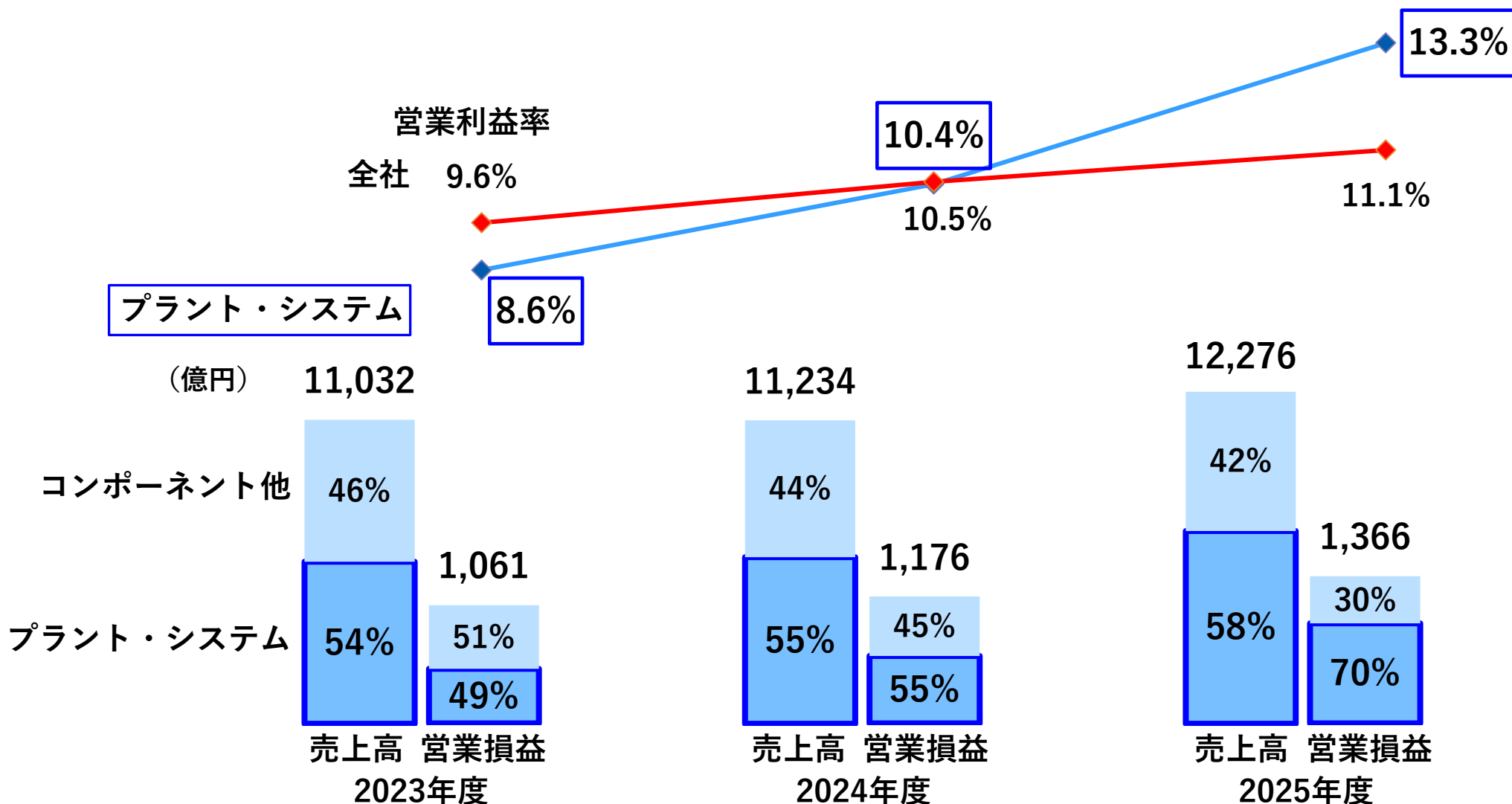
燃料転換・CO₂

- ・CO₂分離・回収装置



CO₂分離・回収装置

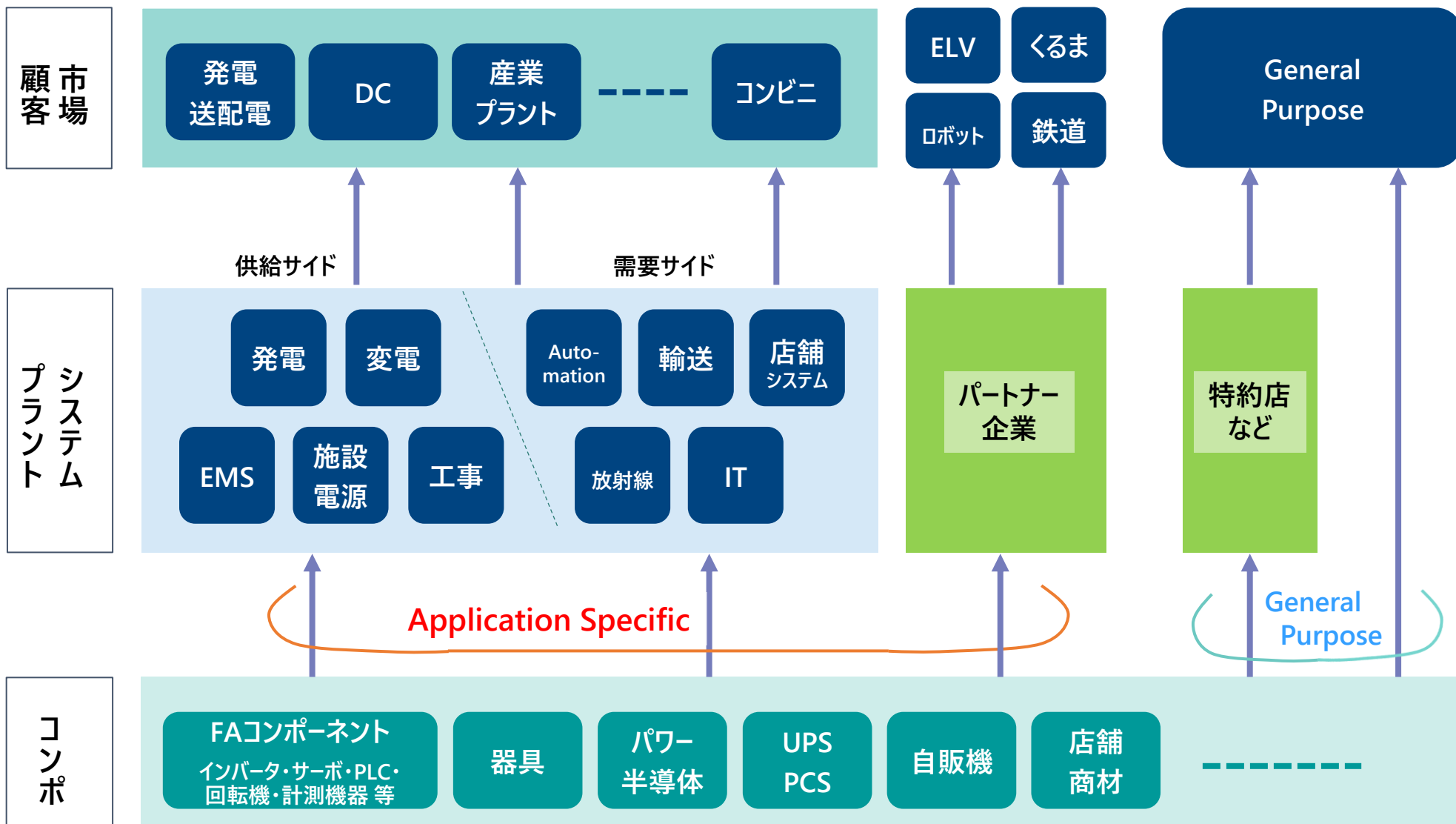
プラント・システム／コンポーネント 売上高・営業損益



※2023年度実績、2024年度実績、2025年度実績は、2026年度の事業組替の数値を反映しています

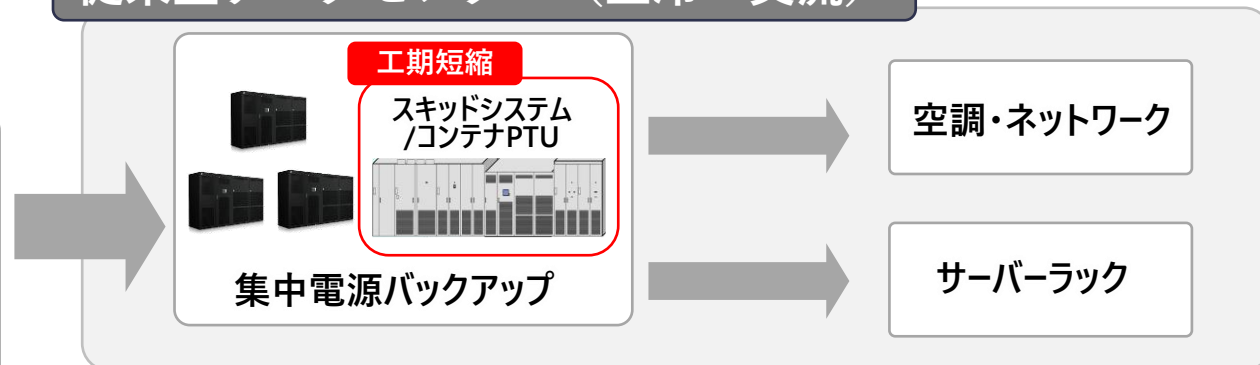
※構成比率はセグメント間の内部取引等を消去・調整する前の金額に基づき算出

富士電機の総合力で、application-specificの領域を強化

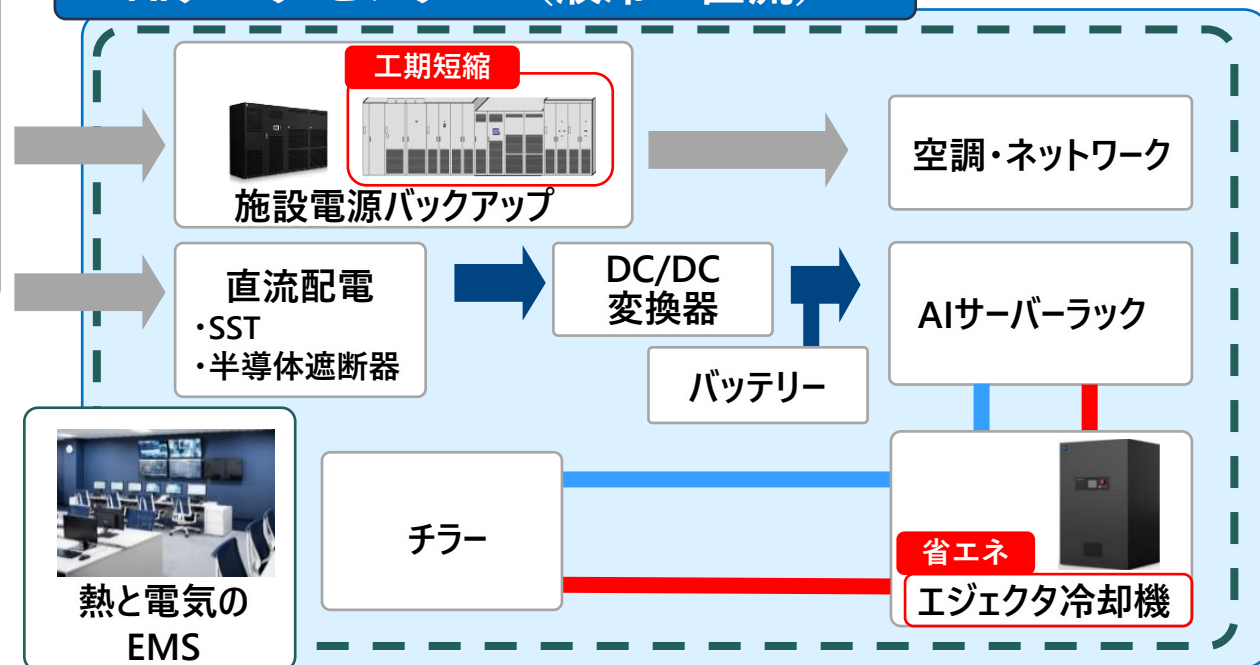


富士電機の事業部門を横断する総合力でトータルソリューションを提供

従来型データセンター（空冷・交流）



AIデータセンター（液冷・直流）



受変電設備

環境対応

- ・SF6レスGIS
- ・FR3変圧器

省エネ

- ・トップランナー
モールド変圧器

熱と電気
の
EMS

お客様の製品・システムの省エネ、小型・軽量化に貢献

パートナー



エレベータ



※JR東海提供

高速鉄道



メガソーラー



電気自動車

DC

くるま

半導体
工場

...

パワーエレ商材



インバータ

業界に先駆け
生産開始



主変換装置

世界初の高速鉄道
システムへの採用



PCS

世界初の3レベル
モジュール搭載



車載
インバータ

小型車対応開発
低背・軽量・
高電力密度



圧倒的な
小型・高効率化

パワー半導体



パワー
トランジスタ



平型IGBT



RB-IGBT



小型車載用
RC-IGBT

SiC

トランジスタ

IGBT

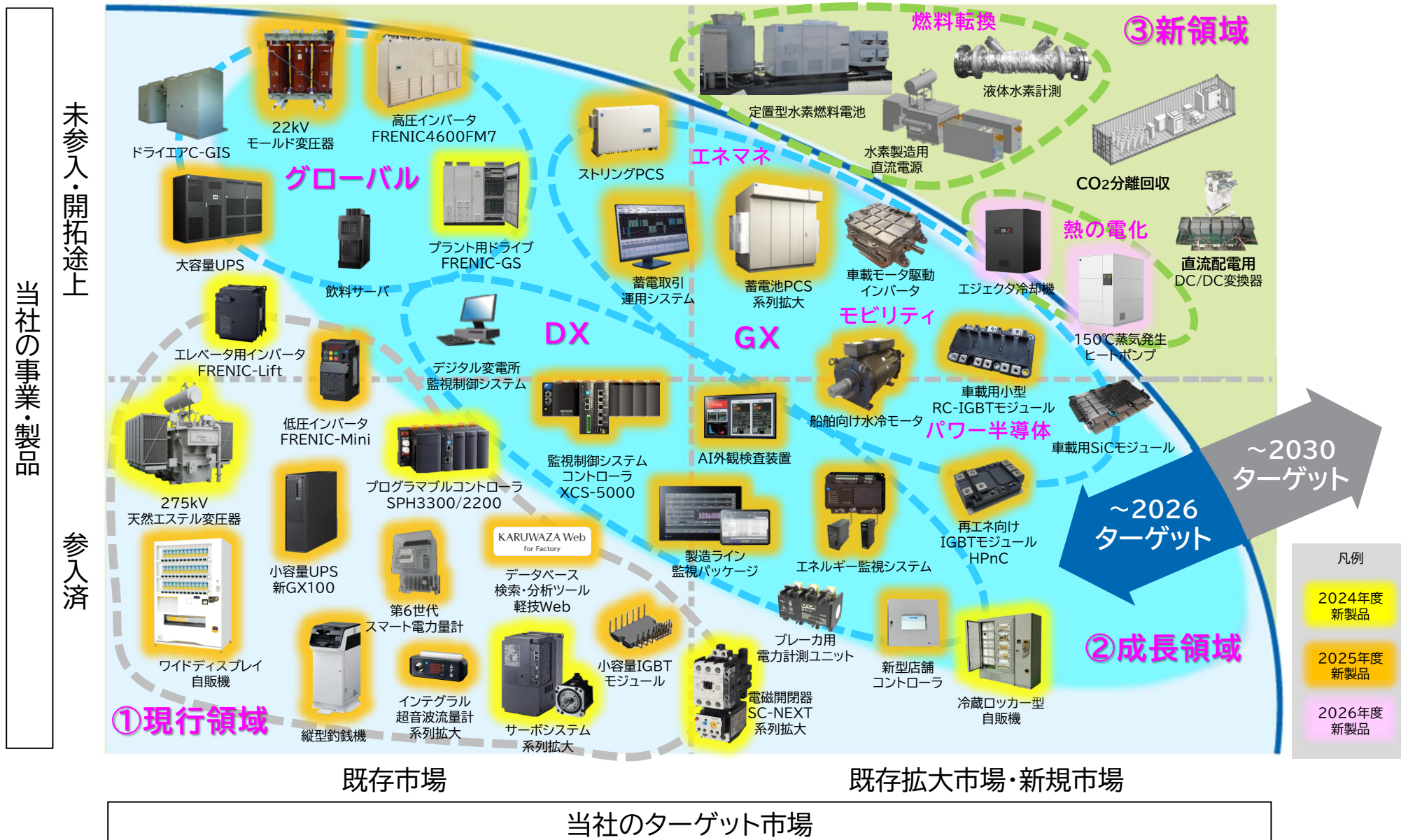
1970

1990

2010

2020

研究開発戦略：成長領域ローリング



未活用の熱エネルギーを有効活用してCO2削減に貢献

◆ 蒸気発生ヒートポンプ 2026年8月発売

- ・ 業界初：ヒートポンプ技術で蒸気を生成
- ・ 排温水のエネルギーを回収して燃料コストやCO2削減に貢献
- ・ 顧客市場
食品飲料、半導体、化学、自動車



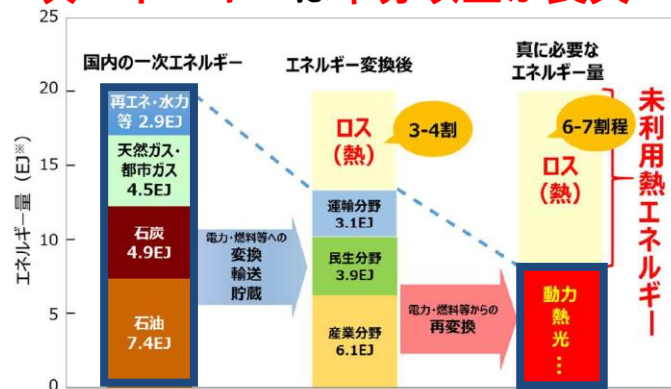
◆ エジェクタ冷却機 2026年6月発売

- ・ 世界初：コンプレッサレスで冷却を実現
- ・ 排熱エネルギーを再利用して圧倒的な省エネを実現(最大85%)
- ・ 顧客市場
データセンター、半導体、食品飲料、自動車



<エネルギーロスの課題>

一次エネルギーは半分以上が喪失



※EJ=10¹⁸ ジュール

出典：未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発
中間評価報告書（案）NEDO 第63回研究評価委員会

<当社のアプローチ>

冷熱技術



ヒートポンプ式自動販売機

未活用の
熱エネルギー
を有効活用



「成長と還元の好循環」を実現する持続的成長企業を目指す

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 経営計画
純損益（億円）	587	613	754	922	980	1,050
1株当たり 年間配当（円）	100	115	135	160	200	—
中間配当 （円）	45	55	60	75	91	107
期末配当 （円）	55	60	75	85	109	—
配当性向	24.3%	26.8%	25.6%	24.9%	30.1%	30%
自己株式取得額 （億円）	—	—	—	—	—	210
総還元性向	24.3%	26.8%	25.6%	24.9%	30.1%	50%

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。